

消防団活動の経験に基づいた防災アシストアプリ

# S.A.F.E.

SYOUBOU. ASSIST. FIRE. EMERGENCY.

消防団専用 防災アシストアプリ

特許取得 火災情報システム 特許第6675723号



地域防災の要である  
消防団の活動を支援します

ICTで  
スピーディーに  
解決！



## 通知で火災を 把握できる！

消防本部や事務局が出した情報を直接全団員へ通知。  
火点をマップに表示するので、発生場所もすぐに把握。



## 水利を一目で 把握できる！

水利台帳を開かなくても、画面上で水利がどこにあるか  
一目で確認。平時には点検記録をつけることもできます。



## 団員・車両が 把握できる！

ボタンを選ぶだけで返答が簡単に！他の団員の運転の  
可否や到着予定時間、車両の現在位置が把握できます。



# 消防団活動経験から開発された S.A.F.E.のさまざまな機能をご紹介します

## Point 1



## 活動の管理をやりやすく！



火災や  
災害発生時の  
情報共有が  
簡単に

(火災場所、周辺の水利等)

鎮火までの時間を短縮。

地域住民の人命救助に繋がります



担当者の  
負担を軽減し  
業務効率を  
改善

メッセージ機能や被服申請  
機能で自治体から消防団への  
連絡がスムーズになります



水利点検の  
記録や  
消防活動の  
基礎知識が  
確認できます

水利の点検記録だけでなく

平常時に団員の知識向上を促せます



現場の  
災害状況を  
その場で  
地図上に登録

煩雑だった現場情報の  
やり取りがスムーズに



## Point 2

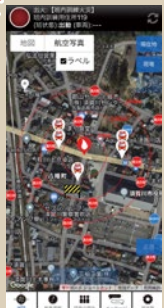


## 現場を動きやすく！



災害発生時に  
通知がすぐに届く

消防署、または事務局から  
全団員に一斉に通知が  
届きます



火事場で水利を探す  
手間がありません

アプリを見れば水利がすぐに  
確保できます。もう水利台帳を  
開いて探す必要はありません



水害や行方不明者  
検索での出動要請  
も出来ます

誰が出動できて誰が欠席なのか  
一覧で確認できます



活動後の報告も  
アプリ上で  
簡単操作

承認者権限は個別に  
設定可能です



避難所・倉庫の  
最新の状況を  
アプリで可視化

情報の変更も手元の  
スマートフォンから行えます



消防団活動経験から学んだ

消防団に必要な3情報

団員全員に  
向けた素早い  
火災の通知

火災現場と  
利用できる水利  
の位置情報

リアル  
タイムな  
出動状況

活用

ICTを活用したS.A.F.E.なら  
どこにいても、瞬時に最適な行動が取れます！

消防本部などからの火災連絡をS.A.F.E.アプリが受け、各団員のスマホへ火災情報などを一斉送信いたします

消防団は地域の防災資産

その価値を、その行動力を、S.A.F.E.で最大化できる！



S.A.F.E.導入イメージ

火災発生 →

消防署



S.A.F.E.アプリにより一斉通知

全団員一斉通知により迅速な連携をサポートします





2018年 須賀川市での導入からはじまり、多くの自治体で取り入れていただいています



総務省 ICT地域活性化  
大賞2020において、  
大賞／総務大臣賞を受賞しました。



復興庁「新しい東北」  
復興ビジネスコンテスト2019にて  
復興大臣優秀賞受賞



情報整備局は平成29年度、福島県  
経営革新計画の承認を受け、国や福島県知事  
より新規性の高い事業として認定を受けました



ふくしま復興塾  
(第6期)にて  
準グランプリ受賞



中小企業強靱化法に基づく事業継続力  
強化計画認定  
東北初の企業の1社として  
経済産業省より認定されました



主催・運営 仙台市の  
仙台 BOUSAI-TECH実証実験  
サポートプログラムに採択



SAFEコンソーシアムを組み  
新機能の開発、全国展開、  
実証実験を行っていく

## 導入にIT担当者は不要です

団員名簿と水利情報をいただければ情報整備局がアプリへ登録。



## 自治体の規模に合わせて 最適化された年間利用料

団員数100人規模～2000人規模まで様々な自治体で導入いただいています。



## 団員証のデジタル化にも対応

スマホがあれば団員を証明することができます



## 導入の効果が現場から届いています

### 人災を防止

須賀川市で火災が発生。  
「S.A.F.E.」の通知で  
近所に住む団員がいち早く現場に到着。  
家人が消火活動をしていたが、  
すでに燃え広がっており危険な状態で  
あった為に団員が法被を被せ救出した。



### 情報の共有

全団員が情報を共有  
できることにより、出動要請が  
かかっていない消防団の班が  
自発的に出動し、火災現場から1Km以上  
離れた水利のホース中継を行い、  
火災に対応した。



SAFEコンソーシアム:バース・ビュー株式会社／スクエル合同会社／株式会社MAKOTO WILL

消防団員のスマホが防災アイテムに変わる!

# S.A.F.E.

SYOUBOU. ASSIST. FIRE. EMERGENCY.



動作デモ動画などが見れます  
<http://gcd.main.jp/safelp/>

情報整備局

〒962-0122 福島県須賀川市木之崎字向原27-39

TEL:050-5587-7475

Email:info@sukapo.jp

<https://www.j-s-k.info>

代表 和田晃司

